

新型コロナウイルス感染症による我が国水産業への 影響に係る抜本的対策を求める特別決議

新型コロナウイルス感染症の長期化・再拡大によって、水産物消費の大幅な減退や魚価の下落は更に厳しさを増し、漁業者の経営や、生産現場を支える産地市場・ＪＦ等の経営にも大きな打撃を与えている。さらに、生産段階のみならず、加工・流通・消費に至る全般にわたって、連鎖的に深刻な影響が継続・拡大している。

我々漁業者・ＪＦグループは、これまでに措置された予算や各種支援を最大限に活用しつつ、自ら経営努力を行い生産の継続に努めている。しかしながら、こうした努力を上回る影響の深刻化により廃業も余儀なくされるなど、浜の将来を脅かす危機的な状況を迎えている。

このままでは、安全・安心かつ多様な水産物を国民に供給する我が国沿岸漁業の本来機能さえ失われかねない。

ついては、この難局を乗り越え、将来にわたって我が国水産業が健全に維持され、国内外の消費者に向け、持続的に食料安定供給の責務を果たしていけるよう、国に対し、漁業者およびＪＦの経営継続、魚価回復、販売促進等に関して、更なる抜本的対策を強く求める。

以上、決議する。

２０２１年６月２３日

全国漁業協同組合連合会 通常総会